

栗石町コミュニティ・スクール通信

栗石町教育委員会 令和7年 7月発行

栗石中学校3年生 福祉学習「ともにはぐくみ ともにいきる」

世代や、障がいを超えたコミュニケーション体験

栗石中学校では地域の福祉に携わる方々と連携し、意見を出し合いながら全5回にわたる福祉学習を作り上げました。障がい者福祉・高齢者福祉・保育の3つからなるこの授業には、未来を担う栗石の子どもたちへの願いが込められています。

6月30日(月)、岩手県立大学社会福祉学部 ほんまめぐみ 本間萌先生を講師に迎え、『ふだんのくらしをしあわせに 笑顔を支える「わたし」の福祉活動』と題し、福祉全般のコミュニケーションのあり方についてご講義いただきました。

7月2日(水) ～出会い授業プロジェクト～

①障がいは壁じゃない ～けんちゃんどすてきな仲間たち～

ささかわじゅんこ 笹川純子さん(西山在住)が特別支援学校に在籍していた長男 けんたろう 健太郎さん(享年19歳)と旧下長山小学校児童との6年間に渡る交流と「二十歳のつどい」の様子を収めたドキュメンタリー映像を用いて講義を行いました。20歳になった旧友たちが健太郎さんと交流した当時のことを語り、障がいを持つ人への理解と共生のあり方を教えてくれました。いずみさわゆうと 泉澤佑叶さんは「障がい者と健常者、足りないところはお互いさまという言葉が響いた」と感想を述べました。



一緒に楽しめるスポーツは何かを考えて交流しました

7月9日(水) 世代間交流体験「ようこそ先輩」

②生徒たちが考えたレクリエーション交流とおもてなし実習

この活動は栗中生が地域社会の一員として、「かかわってもらいこども」から「かかわりを働きかける若い世代」へ意識を高めることを目的に、社会福祉協議会と学校が企画運営しました。町内のふれあいサロンメンバー約40名を中学校に招待し、へっちょこ団子づくり、軽スポーツ、テーブルゲームのレクリエーションで楽しんでもらえるように、生徒たちがおもてなしメニューを考えて交流しました。給食交流会ではお互いの理解を深めようと色々な質問をする生徒に、参加者は笑顔で答えていました。



2組は一緒にへっちょこ団子づくり

一組と四組は
ニュースポーツで交流



テーブルゲームで盛り上がる
三組とサロンメンバー



和やかな給食交流



ハイタッチでお見送り



7月10日(木)、15日(火)、16日(水) こどもの成長を見守る福祉

③幼児が喜ぶ絵本の読み聞かせと保育園実習

7月10日(木)、3年生は「語りの会風楽堂」^{ふじさわようこ}藤澤陽子さんを講師に、幼児に絵本を読み聞かせする際のコツを教わりました。生徒は同じ絵本でも間の取り方や抑揚、会話表現によって、全く伝わり方が違うことに気づき、保育園実習での園児への読み聞かせに向けて練習しました。



スラスラ読むのではなく、
情景が浮かぶように伝えましょう

15日(火)、16日(水)の2日間、生徒は雫石保育園・御明神保育所・西山保育園・にじいろ保育園・セツ森保育園・御所保育園に分かれ、保育園実習を行いました。生徒は園児とふれあい・家庭科の授業で作った自作の絵本等の読み聞かせを行いました。

セツ森保育園の照井園長は「メディアの時代と言われているが、人と関わりながら社会は動いている。この実習が、中学生に人と関わることの楽しさを知るきっかけになって欲しい」と話しました。



語り手、持ち手、せりふ役に分かれての
読み聞かせに、聞き入る年長児



おねえちゃん、おんぶ〜♡



生徒の手づくり絵本に夢中の園児



鉄棒遊びの見守り
&アシスト



おにいちゃん、
あーそーぼー!

地域施設交流 御所小学校×日赤鷺鳴荘

一緒に七夕飾りを作ったよ

7月4日(金)、御所小学校1年生7名は日赤鷺鳴荘を訪問し、入所者と一緒に七夕飾りを作りました。ハサミを使うのが難しい方に「切りますか?」と声をかけて切ってあげる児童もいました。

日赤鷺鳴荘では6月に2年生が花植えを行いました。秋には6年生が同施設で介護職を体験し3,4年生はうぐいすの郷で交流をする予定です。地域の施設と継続的に関わることで、お年寄りへの接し方や介護の仕事について体験を通して学ぶことができます。



おうめいそのおじいちゃんおばあちゃん
こんどおりのひとたちがげんきでけん
こうどくらひますように。



合唱「にじ」の
プレゼント♪